

記憶の技法 (2020)

メディア 映画

ジャンル 青春 ドラマ ミステリー

製作国 日本

色彩 Color

時間 104分

初公開日 2020/11/27

公開情報 KAZUMO

映倫 G

【キャッチコピー】

東京、福岡、釜山—— わたしの帰る場所はどこ？
美しくも残酷な記憶をめぐるミステリー

【解説】

吉野朔実の同名漫画を「東南角部屋二階の女」「スタートアップ・ガールズ」の池田千尋監督が主演にE-girlsの石井杏奈を迎えて実写映画化した青春ミステリー。記憶喪失癖に悩む女子高生が、両親が実の親ではないと知ったことをきっかけに、真実を求めて自らのルーツを調べる中で封印された記憶を呼び覚まし、思いもよらない過酷な事件の真相と向き合っていく姿を描く。共演は栗原吾郎、柄本時生、小市慢太郎、戸田菜穂。

東京に暮らす女子高校生の鹿角華蓮は、幼少期のことをほとんど覚えておらず、そのあいまいな記憶の断片にしばしば悩まされていた。そんな中、韓国への修学旅行のためにパスポートの申請手続きをしていて、自分が松本という家から今の両親に養子に出されていたことを知る。真相を突き止めるべく、ひよんな成り行きからルーツ探しに協力してくれることになった同級生の穂刈怜を旅のパートナーに、出生地の福岡へと向かう華蓮だったが…。

【クレジット】

監督 池田千尋
プロデューサー 中林千賀子
齋藤寛朗
原作 吉野朔実
脚本 高橋泉
撮影 池内義浩
美術 塚本周作
衣裳 山崎忍
編集 渋谷陽一
音響効果 大塚智子
音楽 安川午朗
照明 赤津淳一
録音 小原善哉
装飾 松葉明子
ヘアメイク 小出みさ
南辻光宏
VFX 泉谷修
スクリーンライター 吉田久美子

助監督

佐伯竜一

出演

石井杏奈 鹿角華蓮

栗原吾郎 穂刈怜

柄本時生 金魚屋の青年

西本まりん

木下彩音

後藤由依良

佐藤結良

二階堂智

小市慢太郎 鹿角正

戸田菜穂 鹿角加子